

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛媛県新居浜市立垣生小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 792 - 0872  
愛媛県新居浜市垣生 1 丁目 5 - 3 8

E-mail : nhae-ad@esnet.ed.jp

Website : http://niihama-habu-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数：男子 154 名 女子 132 名 合計 286 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ESDテーマ 「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して  
～命の尊さと共に生きることの素晴らしさを感じられる子～

### ア 食農活動や環境教育

本校は、これまで地域の公民館と連携して、自然界に優しい「えひめA1-2（環境浄化微生物）」を活用した堆肥作りや野菜作り、プールやトイレの浄化など、食農活動や環境教育に取り組んできた。例えば、環境委員会の児童が「えひめA1-2」を作って、粃殻や米ぬかなどと混ぜ合わせる。それを、毎日の給食の廃棄野菜と一緒に、学校の畑に埋めて堆肥に変え、肥沃な土を作る。その畑で、自分たちで野菜を育て収穫することを通して、自然の命の恵みに感謝する豊かな心を育てている。また、収穫したものを、地域の「人・もの・こと」と関わり、分かち合う活動を通して、地域の人との「絆」を深めている。



### (ア) 1年「みんな大好き ～人・もの・自然とふれ合おう～」

垣生山の麓の畑で、公民館長さんや地域の方たちに教えていただきながら、サツマイモの苗植えをした。苗の向きに気を付けて並べた後、ていねいに土をかけた。「おいしいお芋になってね。」と、やさしく声をかけながら植えて水やりをした。



### (イ) 2年「みんな大好き ～人・もの・自然とふれ合おう～」

学校畑に野菜の苗を植えた。まず、畑に生えた草を丁寧に抜いて、スコップやくわを使って耕した。次に、根が大きく伸びることを考えて、苗と苗の間隔に気を付けながら、トマト、ピーマン、ナス、キュウリの苗を植えた。自分の鉢にはミニトマトの苗も植えた。



### (ウ) 3年「みんな大好き ～地域の自然・もの・人とつながろう～」

野菜の苗植えをした。植えた苗は、オクラ、ピーマン、ナス。植えた後、観察して絵や文でまとめた。野菜によって、葉の形や茎の色など、たくさんのちがいがあることが分かった。これから水遣りや草引きをして、たくさんの野菜が収穫できるようにがんばろうという意欲をもつことができた。



(エ) 4年「自然の恵みを生かして ～収穫した大豆から豆腐づくり～」

総合的な学習の時間に畑に大豆の種を植えた。畑にたくさん生えていた草をみんなで手分けして引き、大豆の種を1粒1粒大切に植えていった。みんなで協力しながら、水をたっぷりあげて、「早く芽が出たらいいな。」と話し合った。大豆が育ったら、みんなで豆腐作りをしたり、きなこにしたりしたいねと話した。



(オ) 5年「地域の人と一緒に米を作ろう ～働く人の知恵や工夫～」

田植えをした。みんなこの日を楽しみにしていた。最初は、おそるおそる田んぼに入っていた子どもたちだが、慣れてからはどんどん苗を植えていた。また、田植え機にも挑戦させていただいた。植える速さの違いやまっすぐ運転することの難しさなどに気付くことができた。



(カ) 6年「この美しい地球を守ろう ～『えひめA1-2』を活用して～」

里芋を植えた。公民館長さんに来ていただいて、「里芋は2年続けて同じ畝に植えてはいけないこと」「水分の多い畑のほうがよいこと」「植えるときには里芋の上下を間違えないように植えること」など教えていただきながら作業した。



イ エコ活動

エコ活動では、年間を通して全校でリサイクル運動を推進している。家庭や地域に呼びかけて、牛乳パックやアルミ缶、新聞、雑誌などを資源回収し、それを現金に換えている。地球に優しいエコの活動を、自ら考え行動することや持続可能な発展に関する価値観を学んでいる。これらの活動を、地域全体に広げ深めていくことを通して、地球にやさしい町づくりを目指している。



ウ 防災教育

本校は、地域の合同自主防災訓練（\*地域住民、地域の消防団、消防署が一緒に行う自主的な防災訓練）にも全校で参加し、地域の様々な人との関わりの中で、体験型防災スキルを学んでいる。これらの活動を通して、将来発生されると予測される南海トラフ巨大地震に対する減災の在り方、地域防災の在り方について考え



させるようにする。

エ 地域の文化遺産に関する活動

垣生地域には、200年ほど前から歌われ出したといわれる郷土の文化遺産「じょうさ節」や、ずっと語り継がれてきた民話がある。地域の「じょうさ節保存会」や「は～ぶんこ※民話を語り継ぐ会」と連携して、地域の歴史や文化を学ぶ活動を行っている。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ )